

経営比較分析表（令和6年度決算）

秋田県地方独立行政法人市立秋田総合病院 秋田総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透I未訓ガ	救臨感災輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	31,321	非該当	非該当	7:1

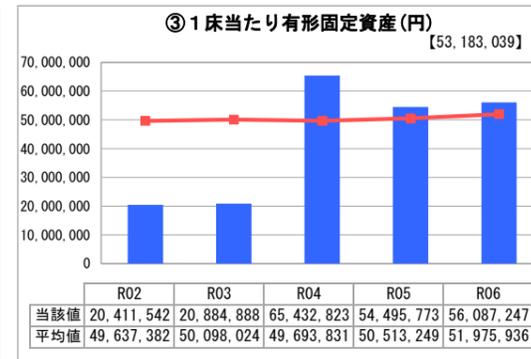
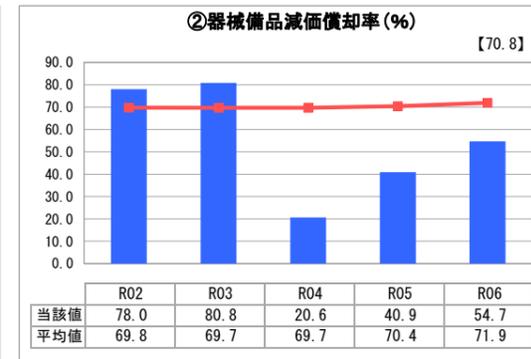
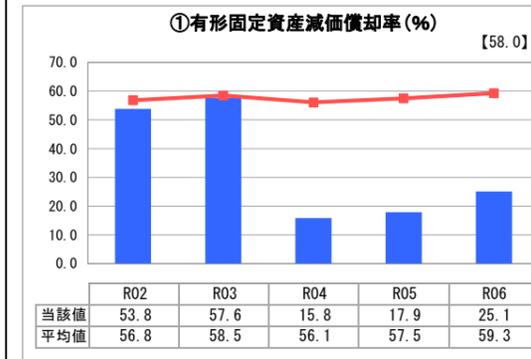
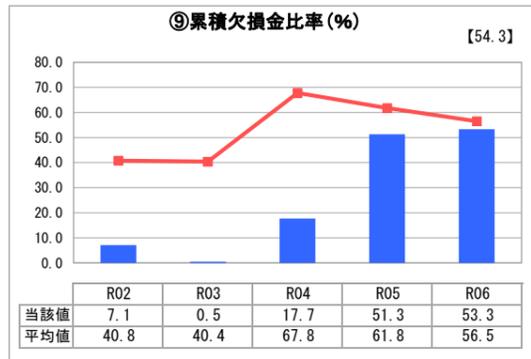
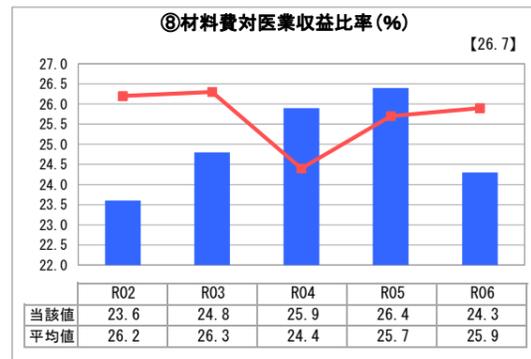
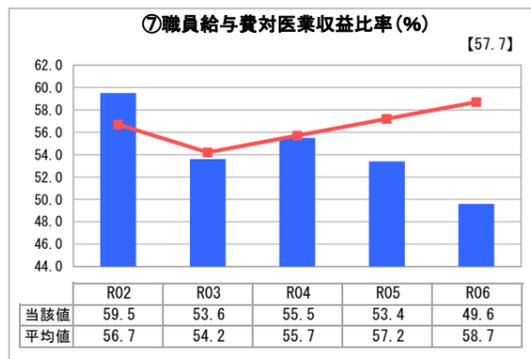
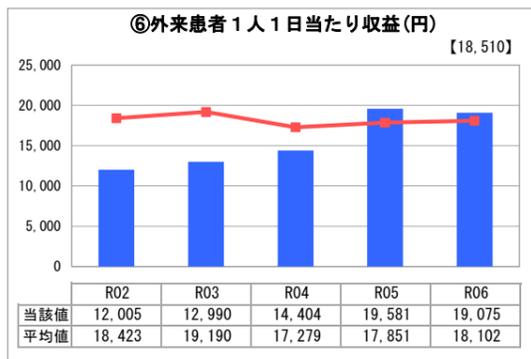
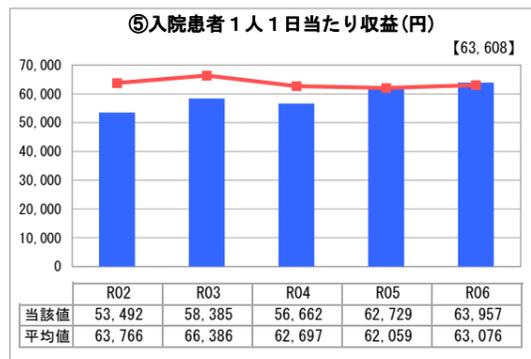
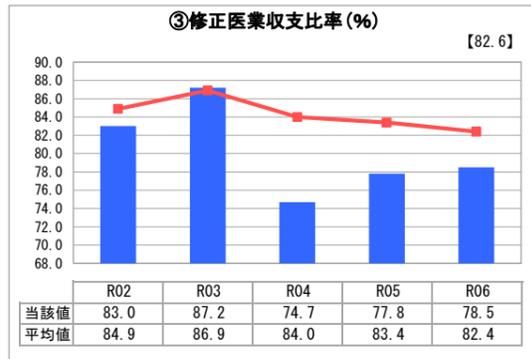
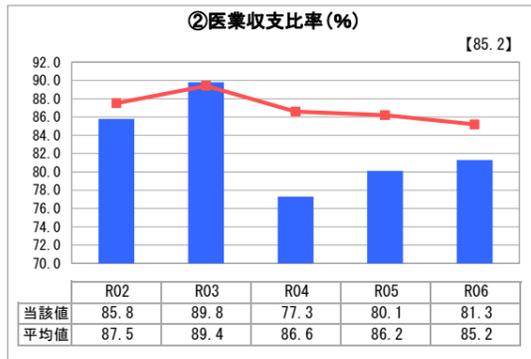
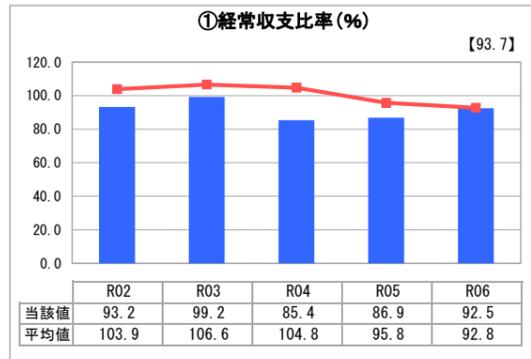
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
333	-	14
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
45	4	396
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
329	-	329

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成26	-
-	年度	-
-	年度	-

I 地域において担っている役割

地方独立行政法人市立秋田総合病院は、公的医療機関として、結核・精神・感染症・救急等の政策的な医療やがん診療等の高度な医療を総合的に提供している。
特に、秋田県がん診療連携推進病院として難易度の高い外科的治療等の提供や、救急告示病院として一般救急および小児救急を開設している。また、秋田県で唯一の基幹型認知症疾患医療センターに指定され、地域の中核的医療機関としての役割を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、前年度に引き継ぎ、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用した経営改善に取り組んでおり、病床利用率が前年度に比べて向上したことなどから、医業収益は増となった。一方、医業費用は、病院建設ならびに医療機器等への投資による減価償却費の負担に加え、物価高騰や人件費増等により前年度に比べて増となった。
結果として、医業収支比率は前年度より改善したものの、経常収支比率は、92.5%に留まった。
なお、当期末処理損失は地方独立行政法人法第40条第2項における損失の処理を行っている。

2. 老朽化の状況について

令和4年10月に新病院が開院したことから、今後は長寿命化等を視野に整備計画の立案・管理を行うとともに、医療機器の計画的更新を行うこととしている。

全体総括

経常収支比率は、前年度より改善したものの、新病院の開院に伴う減価償却費増の影響等により、令和2年度から引き続き100%を下回った。
こうしたことから、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用するなど、各種の経営改善に取り組んでいるところであり、安定した財務基盤の確保を目指しながら、地域における中核的な公的医療機関として、総合的かつ高度な医療を提供しているものである。
今後とも、業務運営の効率化を図りながら、収益の確保と経費の節減に努め、良質な医療を安定的に提供していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。